

## 第 59 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)	ミカムロ/ミカルデイス	中外製薬 (株)	アクテムラ 他
第一三共 (株)	オルメテック/レザルタス	エーザイ (株)	パリエット
グラクソ・スミスクライン(株)	パキシル	(株) ジェイ・エム・エス	
興和創薬 (株)	リバロ	大塚製薬 (株)	ムコスタ
(株) 大塚製薬工場	エルネオパ	塩野義製薬 (株)	サインバルタ
シーメンス・ジャパン (株)	LUMINOS session	大鵬薬品工業 (株)	アロキシ
武田薬品工業 (株)	ブロプレス 他	田辺三菱製薬 (株)	タリオン
(株) ツムラ	六君子湯	(株) ヤクルト本社	カンプト 他

(ABC 順)

## 編集委員会

編集長：並 木 温

編集委員：金 子 弘 真 佐 地 勉 杉 山 篤

周 郷 延 雄 高 橋 寛 高 橋 啓

津 熊 久 幸 瓜 田 純 久 (ABC 順)

## 編集後記

私が医学部を卒業したのは昭和 63 年である。整形外科に入局し、研修医となり、地方会で発表デビューをした。頭は真っ白、何をしゃべったのか？何を質問されたのか？どういう風に答えたのか？訳がわからないうちに終了していた。今は偉くなられている先生方も、若い頃には私と同様の経験をされているのではないだろうか。さらに発表の後には、研修医には面倒くさい論文投稿がある。文章を書き、論拠となった引用文献を調べなくてはならない。投稿がなかなかできず、手間取っていた時、私は茂手木教授に随分と叱咤されたものである。

しかしながらいつの日か、論文投稿がおもしろくなった。発表前に、論文を収集し、読みあさるとその疾患、治療法に詳しくなれる。そして、できることならこの段階で、つまりは発表前に、自分で文章としてまとめることができる。自分の頭の中で系統立って整理することができる。

さて、私は昨年 11 月からの新米教授だが、学位審査に提出される論文を拝見すると 20 年前とは隔世の感がある。立派な内容の論文を和文あるいは英文で東邦医学会雑誌に投稿されている方もいれば、いわゆる top journal に投稿されている方も多々いらっしゃる。国際英文誌に投稿された方は経験がおありだろうが、大変な苦勞をする。日本語でさえ大変なのに、英語での revise、レフェリーへのコメント。でもこれを成し遂げ、publish された時の喜びははかりしれない。私は 6 回も revise されたことがある。し

かしながら Pub Med で検索できる英文誌に論文が掲載されると、さまざまな情報が世界から入ってくるようになる。

今後、東邦大学の名を高めるためには、皆で沢山の論文を輩出しなくてはならない。最初は、日本語の症例報告で十分である。そしていつの日か、top journal に掲載されるように頑張っていこう。

(高橋 寛)

## 東邦医学会雑誌 第 59 巻 第 3 号

平成 24 年 5 月 1 日発行

編集兼 並 木 温  
発行人〒143-8540 東京都大田区大森西 5 丁目 21 番 16 号  
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原 3-46-10

株式会社 杏林舎